

平成29年度第1回 佐久市立図書館協議会 会議録

日時：平成29年8月25（金）

午前10時から

場所：佐久市立中央図書館視聴覚室

委員出席人数 8名

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 会長あいさつ
- 6 会議事項（事務局説明、質疑、意見等要約）

(1) 佐久市立図書館の概要について

佐久市立図書館の概要について事務局より説明

委員：移動図書館車は新しくなったのか。

事務局：現在更新手続きを進めている。来年度からの運行を予定している。

委員：本を多く積載すると重量があるため、移動図書館車は傷みが早いと思う。

(2) 平成28年度 佐久市立図書館事業報告について

平成28年度 佐久市立図書館事業報告について事務局より説明

委員：読書通帳が10冊目に到達した利用者がある。

事務局：本年度の図書館講座で、読書通帳10冊目終了者の表彰を予定している。

委員：読書通帳の感想を見ると嬉しいことが書かれている。たくさん寄せてもらえるとよい。読書通帳2冊目以上の利用者を見ると中学生が少ない。部活動などがあるからだと思う。学校図書館の利用もあると思うが、より一層佐久市立図書館を利用してもらえようPR方法を考えたい。

事務局：中学生の利用が少ないことについて、図書館でも分析している。親子文庫では、小中学生の読書の様子の違いをどう考えていますか。

- 委員 : 小学校ではボランティアや保護者による読み聞かせが盛んだが、中学校ではとても少ない。中学校は行事予定などが多く詰まっており、先生も読み聞かせの時間を作ることに苦勞されているようだ。しかし、読み聞かせや本の紹介により子どもが本と出会い興味を持つ可能性が大きく、重要なことだと思っている。PTA だけでは難しいので学校と一緒に取り組み、本を手に取り本に興味を持てるような環境を中高生に与えられればと思う。
- 委員 : 自身が中学生の時、クラスで昼食後 10 分間読書を行っており、当番を決めて読む本を探した。時間を決めて読書をするのはどうか。
- 委員 : 中学校、高校でも朝読書の時間は作っている。
- 委員 : 文集佐久への寄稿にあたり自身の読書遍歴を振り返った。小学生の時は、親が読み聞かせをしてくれたり本を購入してくれたりした。中学生になり、部活や勉強が忙しくて読書をしなくなった。親との関わりの中に読書があったが、中学生になり親との関わりが薄くなったことも大きな原因だと思う。現代の子どもは多様で、担任した子どもたちを振り返ると推理小説やサスペンスなどの先が見えない内容を好む子どもが多かったように思う。自身を振り返っても、高校生の時に読んだ推理小説が大人になっても読書をするきっかけを作った。
- 委員 : 自身の高校時代、国語教師が読んでくれた戯曲が素晴らしくその後の進路にも影響を与えたことを思い出した。こうした経験は、中高生の本離れが叫ばれているなかで大切なものだと思う。

(3) 平成 29 年度 佐久市立図書館事業計画について

平成 29 年度 佐久市立図書館事業計画について事務局より説明

- 委員 : 音の会の活動を見ていると、録音場所の予約など苦勞していると思う。支援の継続をお願いします。
- 事務局 : 音の会の活動は、図書館にとって本当にありがたい。録音図書の作成には長い時間がかかり、大変な作業であると思う。目に見えた支援は難しいが、今後も協力したい。
- 委員 : 今年度も音読者養成講座は開催するのか。
- 事務局 : 今年度も実施する。11 月と 1 月に各 3 回実施する。
- 委員 : 大変だと思うが継続してほしい。
- 委員 : サングリモで大活字本を読んだ。大きな字で楽に読めて感動した。

(4) その他

ア 図書館アンケート報告について

アンケートの中間集計について事務局より説明

委員 : ありがたいご意見が多い。

委員 : 臼田図書館をいつも利用するが、予約やリクエストの本が用意できた際の連絡を携帯に入れてもらう。着信履歴のみでとお願いしたら、対応してもらってありがたい。

委員 : 知人も図書館職員の対応は良いと言っていた。何回も調べて本を探してくれたと聞いている。

イ セカンドブック事業について

セカンドブック事業について事務局より説明

委員 : 3歳になる子どもがいる場合、利用者から登録や連絡が必要なのか。

事務局 : 佐久市内の3歳になる子どもがいる家庭へ、図書館側から文書で通知する。

委員 : 中学生にも〇〇スタートなどとして本を贈呈してはどうか。

事務局 : 検討していきたい。

委員 : セカンドブックは利用者が一覧の中から選ぶのか。

事務局 : セカンドブックとして挙げた20冊の一覧の中から選ぶ。各図書館に見本を置いている。

ウ 子ども読書活動推進懇話会委員の選定について

図書館協議会委員から2名選出（宮川委員、鷹野委員）

エ その他

事務局より視察研修、図書館講座について現況報告

委員 : 中央図書館の入り口が狭い・低いという話があった。古い建物なので入り口を部分的に改修するのではなく、建物全体を改修してはどうか。視察研修で見学した図書館を参考に、親しみやすい図書館にしてほしい。

委員 : 以前、中央図書館は浸水したこともあった。

委員 : その時は職員の手によって本が1冊も水に浸からなかったが、中央図書館の建物を新しくしたいという話はある。市内他館は、広

くゆったりとしていたり新しくて綺麗だったりして良い。

事務局：佐久市内の施設更新に関する基本方針がある。施設にはメンテナンス経費がかかるため、施設総量を20%削減していく予定。このため、施設を複合しコンパクト化するなどの方法が考えられる。例えば、佐久市立近代美術館等との複合化というようなことも選択肢の1つとして考えられる。市の基本方針に沿いながら、ご意見に応じていければと考えている。

委員：複合施設内に図書館が入っている事例はいくつかある。公民館等との複合施設であれば、一緒に事業を行うこともできると思う。

7 閉会

終了：午前12時